Pioneers English

July ~ September 2021

①dr-, tr- (consonant blends)

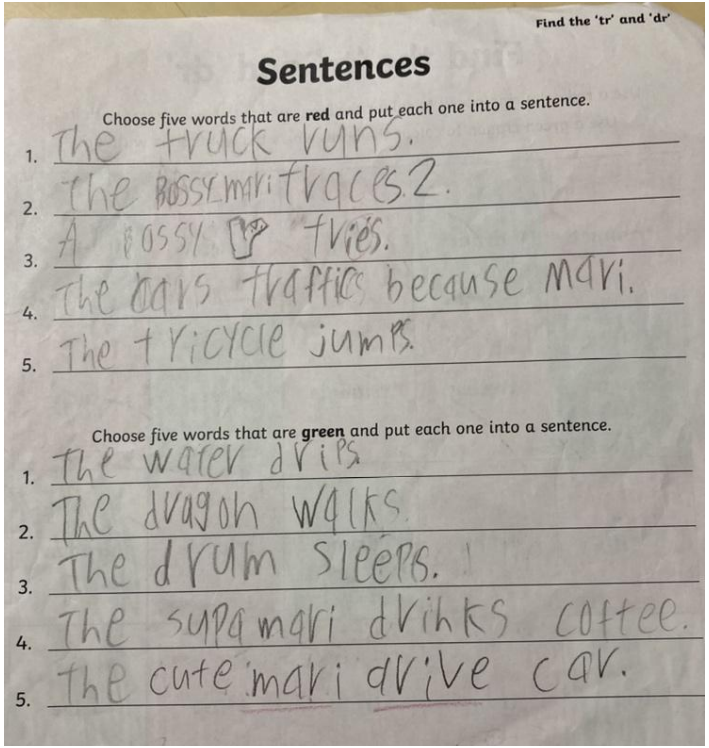
drum, treeと見るとどのように読みますか？日本語では「ドラム」「ツリー」と言いますが、英語では

dr = /jr/

tr = /chr/

と発音します。dとtの後にrがつく時だけのスペシャルルールとなります。このルールを学んだ子どもたちは様々な単語を書く中で反映している様子が見られます。

フォニックスは学年に応じてレベルアップしていきますが、子どもたちのスペリングが徐々によくなっていて、様々なルールを活用していることがわかります。



Find the 'tr' and 'dr'

Sentences

Choose five words that are **red** and put each one into a sentence.

1. The truck runs.
2. The bossy mari traces 2.
3. A bossy tries.
4. The cars traffics because mari.
5. The tricycle jumps.

Choose five words that are **green** and put each one into a sentence.

1. The water drips
2. The dragon walks.
3. The drum sleeps.
4. The supa mari drinks coffee.
5. The cute mari drive car.

よく見てみると私をネタにしまくって文章を書いています。遼くんと大爆笑しながら書いていました。やはり遊ばれてる？笑

惇朗くんは学習スピードがとても早く、一度覚えると忘れることがないので try→triesになるなど数ヶ月前に学んだルールもよく覚えています。この学習能力の高さは彼の特殊能力ですね！

②Long vowels（長い母音）

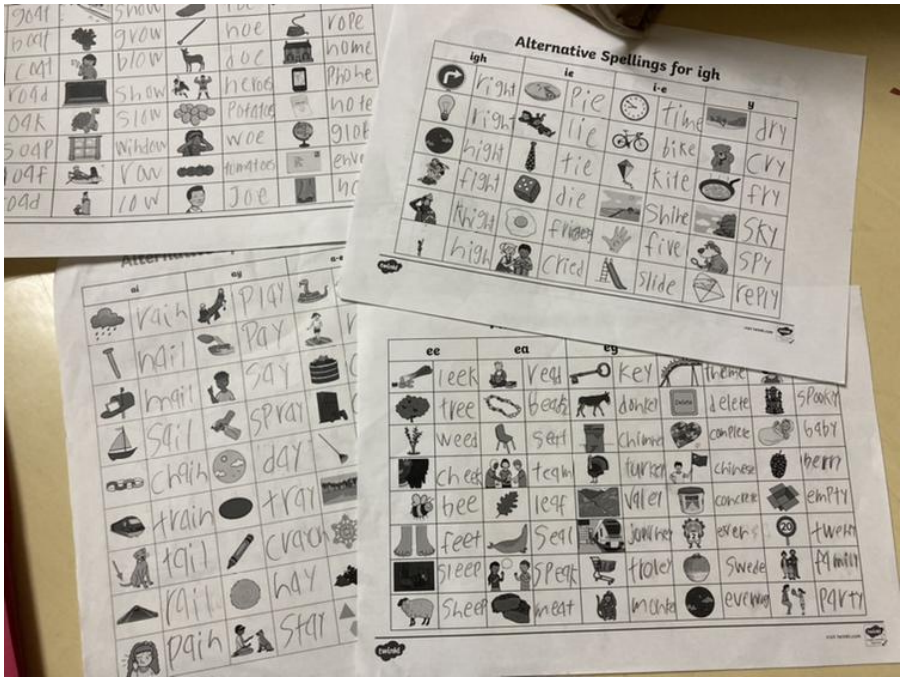
長い母音はとても難しいです。長い母音は様々な書き方があり、規則がないからです。

（例：long a = ai, ay, a-e, eigh, ey...様々な書き方があります。）

８月から各長い母音 (a, e, i, o, u)の書き方のバリエーションを学びました。

どの単語の時にどのスペリングを使うかは今後書いていく中で練習をしていき、慣れていく必要がありますが、今回全てのスペリングのバリエーションを学んだのであとは使い込んでいきます。

惇朗くんもより明確にスペリングを理解し始めています。これまでは感覚で長い母音の単語を書いていましたが今はルールを理解して書いている様子が見られます。

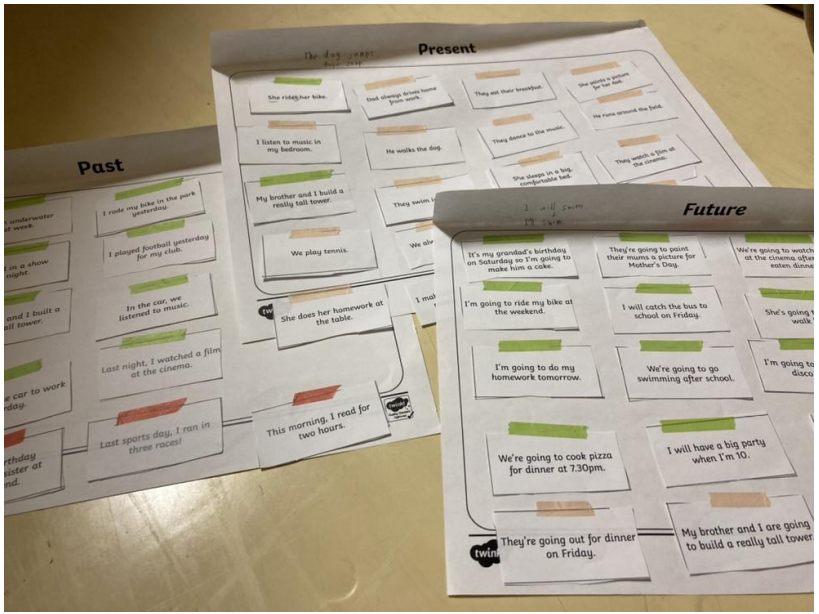


③Past, Present, Future Tenses（過去、現在、未来形）

今期で過去形、現在形、未来形の最もベーシックな形は全て学びました。子どもたちは自分で書く時、読む時に今はどの動詞の使い方をするのかを考えています。かなり高度な学びですが全員大まかな理解はしています。

（過去形は-edがついたり、完全に動詞が変わったり。未来形は「will+動詞」はもちろん、「going to +動詞」というバリエーションがあることも学びました。）

このワークは惇朗くんが1時間長めに6階にいた8月に行なっていたのでお迎えを待っている間、このワークと奮闘していました。みんなよりも長くこのワークと向き合っていたので早く終わり、「あーそれって難しいんだよね～」「教えてあげようか？」「まり、もうルール教えてもいいかな？」などと相変わらず私の右腕をしてくれていました。



④Informational Text（ノンフィクション）

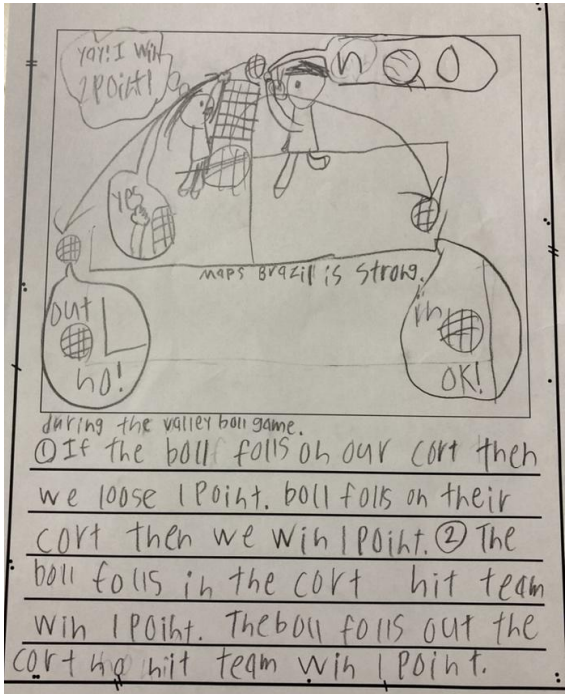
これまでクリエイティブなストーリーをたくさん描いてきた子どもたちですが、今期からはノンフィクションへの挑戦を始めました。ノンフィクションを書くにはいくつかの工程を踏んでいます。

①よく知っているトピックの案出し

② Fact（事実）vs. Opinion（意見）

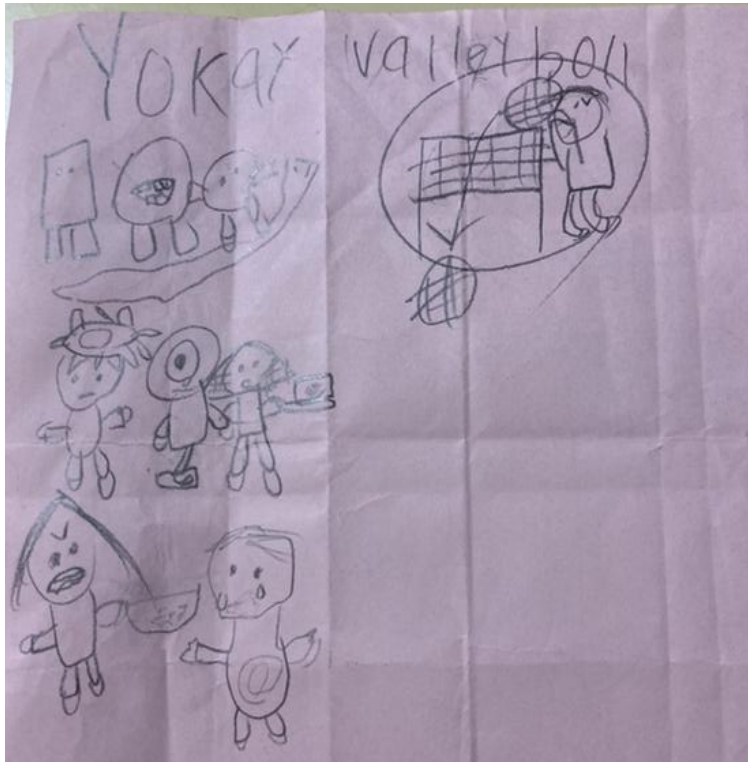
③ノンフィクションによく出てくる特徴とは？

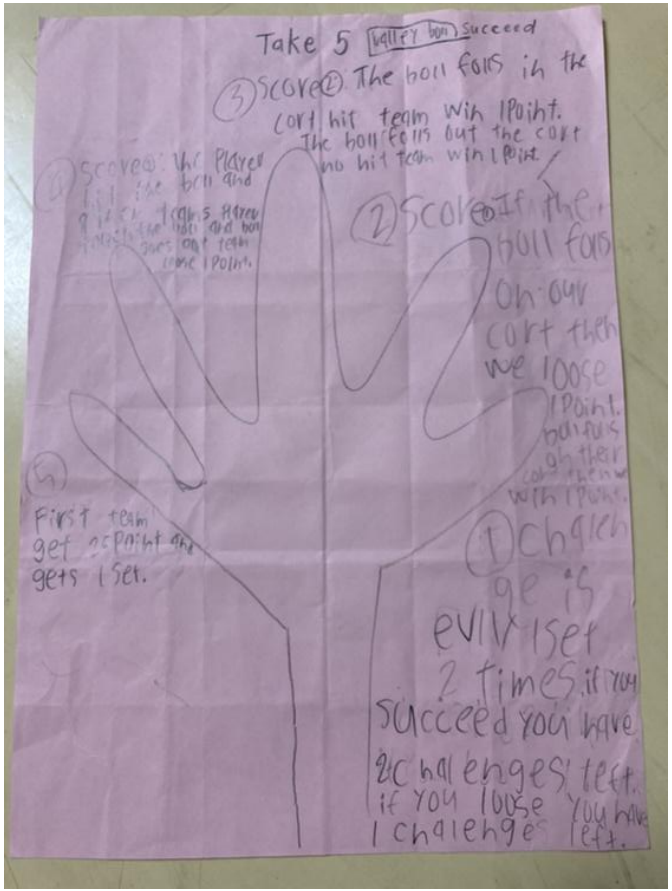
④ノンフィクションでよく使われるsome, many, all, mostの違いは？



悼朗くんのノンフィクションはバレーボールについて。ルールを全て書きたいらしく、とても複雑な文章が色々書かれています。もちろん全ての文法があっているわけではないのですが私が読んでもわかるレベルのクリアな文章です。

①よく知っているトピックの案出し

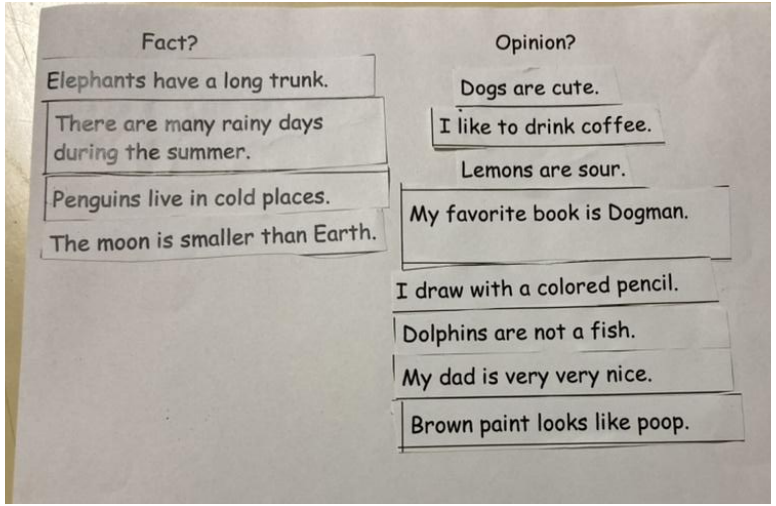




悼朗くんは何について書くか考えるために案出しを行い、その後決まったトピック"Volleyball"について何を書くかをまとめました。案出しの時には相変わらず「妖怪」も出てきて、妖怪図鑑のような物を書くことも検討していました。年長の時から妖怪の物語はよく書いてきたので新しいトピックについて書くことになり、私も完成がどのような物になるのか興味津々。(ちなみに先日これまで書いてきた妖怪物語を読み直していた悼朗くんは「ん〜、やっぱり面白いな〜」と自分の作品を高く評価していました！)

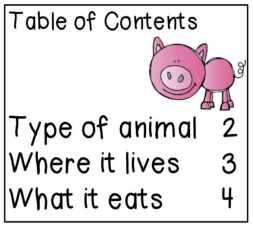
② Fact（事実）vs. Opinion（意見）

ノンフィクションにはopinion（意見）は書かれていません。（例：Catsの本に “I like cats” “Brown cats are the best”などは書いていない）ノンフィクションは自分の価値観や好みを伝えるところではなく、事実を伝えていく、ということを学びfact/opinionという単語を使って考えていきました。



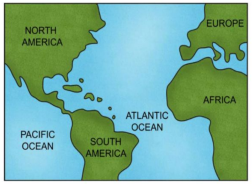
③ノンフィクションによく出てくる特徴とは？

Table of Contents



Help the reader find what is in the book.

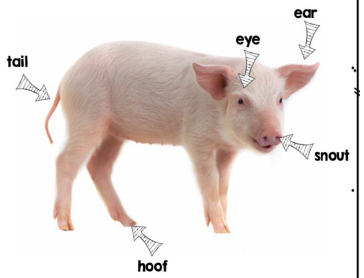
Maps



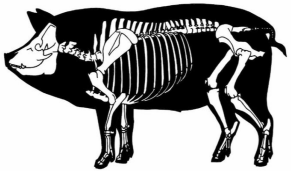
Help the reader know where things are in the world.

Close-Ups

Labels



Cut Aways



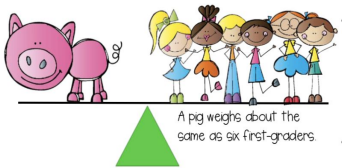
Show the reader what something looks like on the inside.

Captions

Pigs spend a lot of their time sleeping.

Tell the reader about the picture.

Comparisons



Help the reader get a picture in their head to understand the relationship between two or more things.

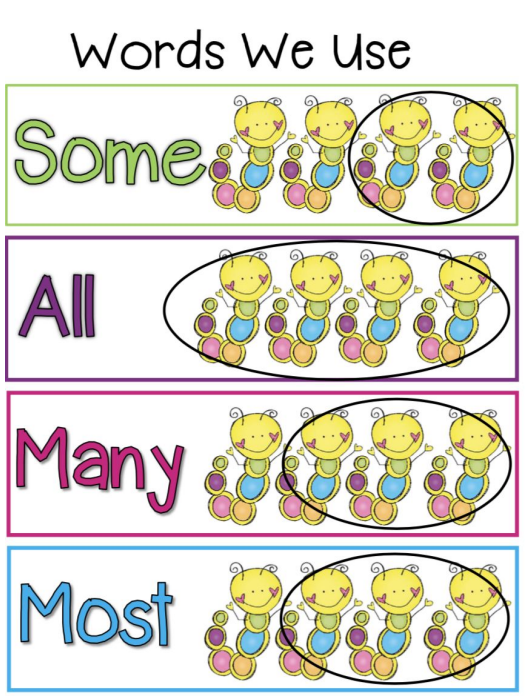
ノンフィクションの本、図鑑などによく出てくるfeature（特徴)について学び、本で探しました。「確かによくノンフィクションでこれ見るね～」などと子どもたちも言っていました。これらのfeatureをどのように自分の本には取り入れていくのでしょう？

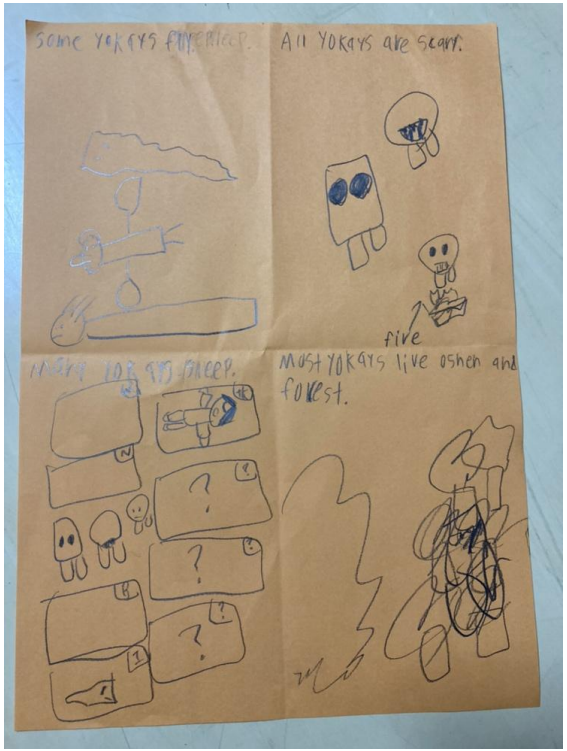
④ノンフィクションでよく使われる some, many, all, mostの違いは？

子どもたちは感覚でどういう意味かはわかっていましたがmanyとmostの使い方が難しかったようです。

「manyはわかるけど、mostってどうやって使うの？」と聞かれました。most = 「ほとんど」という意味となります。

今期と来期はノンフィクションを読んでいき、よく出てくる単語を取り上げて、それらを自分の本にも取り入れていくワークを行います。





１０月～１２月の学びポイント:

- Contractions（縮小形）
- And, or, but, because
- ノンフィクションの完成
    - このライティングでこれまで学んできた様々な文法、スペリングルールを活用していくため１０月から１２月は復習の時期となります。